

『**衣服材料学**』朝倉書店
第7刷 正誤表 (2026.4.作成)

頁	行	誤	正
全体	—	諸より糸	もろより糸 ※JIS L0205改訂による表記変更
"	—	縫い糸	縫糸 ※JIS L0205改訂による表記変更
"	—	編み糸	編糸 ※JIS L0205改訂による表記変更
"	—	ひきそろえ糸	引きそろえ糸
9	図2.5「化学繊維／合成繊維／ポリアクリロニトリル系」	アクリル, <u>アクリル系</u>	アクリル, <u>モダクリル</u>
12	②麻 1行目	4,000～5,000年前には	紀元前6,000年～紀元前4,000年には
"	19行目	サイザル麻はロープや	サイザル麻はロープや
"	下から6行目	諸より糸：Z500の単糸2本をひきそろえ, 上より数を400としたSよりの糸 S400/Z500//m (上より/下より/測定値)	より糸：Z500の単糸2本以上を引きそろえ, 上より数を400としたSよりの糸 S400/Z500//2.54 cm (上より/下より)
"	参考文献	(1番目に追加)	ジャック・ルール著, 香山学監修, 尾崎直子訳 (2022) 『リネンの歴史とその関連産業』白水社, p.9.
25	12行目	アクリル系繊維と呼ぶ	モダクリル繊維と呼ぶ
"	13行目	アクリル系繊維には	モダクリル繊維には
"	16-17行目	アクリル系繊維を用いた	モダクリル繊維を用いた
31	表2.3 下から2行目	アクリル系	モダクリル
49	「3.2.3 より糸」4行目	より回数/測定長	より回数/単位長さ
"	10行目	諸より糸：Z18の単糸2本をひきそろえ, 上より数を12としたSよりの糸 Z/18/S12/2.54 cm (上より/下より/測定値)	より糸：Z18の単糸2本以上を引きそろえ, 上より数を12としたSよりの糸 Z18/S12/2.54 cm (下より/上より)
"	下から6行目	諸より糸：Z500の単糸2本をひきそろえ, 上より数を400としたSよりの糸 S400/Z500//m (上より/下より/測定値)	より糸：Z500の単糸2本以上を引きそろえ, 上より数を400としたSよりの糸 S480/Z500//2.54 cm (上より/下より)
52	表3.10 上から5番目	20番手単糸および30番手双糸のより糸	20番手単糸と30番手双糸のより糸
53	3行目	諸より糸	もろより糸
"	表示例 (JIS L 0140)	諸より糸 同じ糸からなる諸より糸 異なった糸からなる諸より糸	もろより糸 もろより糸 異なった糸からなるもろより糸
"	下から7行目・3行目	縫い糸	縫糸
54	4行目	縫い糸は織り糸…	縫糸は織糸…
"	5行目	編み糸	編糸
"	10, 11行目	縫い糸	縫糸
"	13行目	綿ミシン糸	綿ミシン糸 (カタン糸)
55	図3.14 タイトル	図3.14 <u>ミシン糸</u> の荷重伸長曲線	図3.14 <u>縫糸</u> の荷重伸長曲線
61	図4.12	(教科書の組織図は正しいが, 色が濃く境目がわかりにくいため色を薄くして示す.)	 <p>斜文線の方向</p>

頁	行	誤	正
62	図4.13	(教科書の組織図は正しいが、色が濃く境目がわかりにくいため色を薄くして示す。) 	
"	図4.14	(教科書の組織図は正しいが、色が濃く境目がわかりにくいため色を薄くして示す。)	
"	図4.16	(教科書の組織図は正しいが、色が濃く境目がわかりにくいため色を薄くして示す。)	
67	図4.34	(右図に差し替え)	
95	最後の行	評価する方法 (ベンジュラム法)	評価する方法 (リンクル法)
96	図4.93 (2箇所)	アクリル系	モダクリル
104	表4.8	アクリル系, ポリウレタン	モダクリル, ポリウレタン
106	表4.9 表下注	アクリル系は難燃性.	モダクリルは難燃性.
130	表6.1, 図6.1		(情報の更新により変更, 別紙)
131	表6.2		(情報の更新により変更, 別紙)
"	1-2行目	表6.1と図6.1から世界の繊維は、合成繊維と綿の生産量が増加している。とくに綿の2017年の生産量が前年より10.6%増加している。	表6.1と図6.1から世界の繊維は、合成繊維とセルロースの生産量が増加している。綿は2015~2021年までは徐々に増加しているが、2022~2023年では減少傾向にある。
"	3-5行目	表6.2に主要国・地域の化学繊維生産(2017)と図6.2に主要国・地域別の化学繊維の生産量(2017)を示す。世界の化学繊維生産をみると中国は世界の生産量の70.9%と圧倒的に多い。	表6.2に主要国・地域の化学繊維生産(2023)と図6.2に主要国・地域別の化学繊維の生産量(2023)を示す。世界の化学繊維生産をみると中国は世界の生産量の85.7%と圧倒的に多い。
"	6-7行目	ポリエステルは、インド、ASEANの生産も多くなっている。	ポリエステルは、インドの生産が多くなっている。
"	下から4-1行目	表6.3に(…略…)、図6.3に世界主要国の綿花生産割合(2017)を示す。(…略…)最大の生産国は、インド、次いで中国、米国と続く。2016から2017年の増加率は、米国が19.5%と大幅に伸びている。	表6.3に(…略…)、図6.3に世界主要国の綿花生産割合(2023)を示す。(…略…)最大の生産国は、中国、次いでインド、ブラジルと続く。2021年インドは、中国に生産量第1位を譲り渡した。また2022-2023年の増加率は、パキスタンが69.9%、ブラジルが25.4%と大きく伸びている。
132	表6.3, 図6.3	(情報の更新により変更, 別紙)	

頁	行	誤	正
"	3-12行目	日本の輸入浸透率は、(…略…) 2014年には97%を超えている。表6.5に2016年の国別Aパレル輸入を示す。中国は数量で約68%、金額で約64%、平均単価は656円で全世界の701円より下回っている。ベトナムは数量で約11%、金額で約12%であるが、平均単価は789円と全世界より上回っている。これは中国が(…略…)ベトナムは中・高級品の生産を強化していることが分かる。バングラデシユは、(…略) インドネシア、カンボジア、(…後略)	日本の輸入浸透率は、(…略…) 2014年には97%を超え、2022年には98.5%となっている。表6.5に2022年の国別Aパレルの輸入を示す。中国は数量で59.4%、金額で53.7%、平均単価は752円で全世界の832円より下回っている。ベトナムは数量で14.3%、金額で16.5%であるが、平均単価は960円と全世界より上回っている。バングラデシユは数量で7.9%、金額で5.9%、平均単価は627円と安価である。中国が(…略…)ベトナムは百貨店・セレクトショップなど中・高級品の生産を強化していることが分かる。また、バングラデシユは、(…略)その他、インドネシア、カンボジア、(…後略)
"	下から1行目	2016年の衣料品	2022年の衣料品
133	表6.4, 表6.5	(情報の更新により変更, 別紙)	
134	図6.4	(情報の更新により変更, 別紙)	
"	1-4行目	市場への供給量は37億2,360万点で、前年比1.4%増加した。過去10年間をみると、2013年の41億点をピークに減少している。	市場への供給量は37億2,770万点で、前年比2.5%増加した。過去10年間をみると、2013年の42.8億点をピークに減少している。
"	11-13行目	しかし、2016年は為替が少し円高になり、平均単価も前年より低下し、供給量が若干回復している。	しかし、2018年は為替が円高になり、平均単価も低下し、供給量が回復している。しかし、2020年はコロナ禍の影響で供給量は減少した。そのため値引き販売を強いられ、平均単価は低下した。2021年から平均価格は上昇傾向になったが、同年後半から為替が円安に転じたことに加え、2022年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻が世界的なインフレに拍車をかけ、服の調達コストが上がり、国内供給量は伸び悩んでいる。
"	参考文献	(右の各年版に更新)	織研新聞社 編 (2024) 『業界構造丸わかりファッションビジネスガイド2025』 織研新聞社 編 (2024) 『FASHION BUSINESS DATA BANK 2018』 日本化学繊維協会 (2024) 『繊維ハンドブック2025』 日本化学繊維協会 (2024) 『内外の化学繊維生産動向 (2025) 』
135	図6.6 (繊維製品の3R率)	(図の下に註を入れる)	*環境省が行った日本国内での衣類の供給量と廃棄衣料のマテリアルフローの調査結果が公開されている。以下のURLには2024年度の調査結果が報告されているので、閲覧するとよい。 https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/goodpractice/materialflow_reiwa6.pdf
140	表6.7「合成繊維/ポリアクリルニトリル系合成繊維/その他のもの」	アクリル系	モダクリル

頁	行	誤	正			
141	表6.8 タイトル	表6.8 洗濯表示記号	表6.8 新しい洗濯表示記号(令和6年8月20日 JIS L 0001改正による)			
"	表6.8「表1 洗濯処理」 110	(右図に変更)				
"	表6.8「表1 洗濯処理」 111	(新たに右の行を追加)	<table border="1" data-bbox="692 228 1037 276"> <tr> <td>111</td> <td></td> <td>・液温は30℃を限度とし、手洗いができる</td> </tr> </table>	111		・液温は30℃を限度とし、手洗いができる
111		・液温は30℃を限度とし、手洗いができる				
"	表6.8「表1 洗濯処理」 100	(右図に変更)				
"	表6.8「表2 漂白処理」 200	(右図に変更)				
"	表6.8「表5 アイロン仕上げ」 530	・底面温度200℃を限度としてアイロン仕上げができる	・底面温度210℃を限度としてアイロン仕上げができる			
"	表6.8「表5 アイロン仕上げ」 520	・底面温度150℃を限度としてアイロン仕上げができる	・底面温度160℃を限度としてアイロン仕上げができる			
"	表6.8「表5 アイロン仕上げ」 510	・底面温度110℃を限度としてアイロン仕上げができる	・底面温度120℃を限度としてアイロン仕上げができる			
"	表6.8「表5 アイロン仕上げ」 511	(新たに右の行を追加)	<table border="1" data-bbox="692 595 1037 643"> <tr> <td>511</td> <td></td> <td>・底面温度120℃を限度としてスチームなしでアイロン仕上げができる</td> </tr> </table>	511		・底面温度120℃を限度としてスチームなしでアイロン仕上げができる
511		・底面温度120℃を限度としてスチームなしでアイロン仕上げができる				
"	表6.8「表5 アイロン仕上げ」 500	(右図に変更)				
"	表6.8「表6 ドライクリーニング」 620	・パークロロエチレン及び石油系溶剤によるドライクリーニングができる	・パークロロエチレン又はジプトキシメタン若しくは石油系溶剤又はデカメチルペンタシクロシロキサンによるドライクリーニングができる			
"	表6.8「表6 ドライクリーニング」 621	・パークロロエチレン及び石油系溶剤による弱いドライクリーニングができる	・パークロロエチレン又はジプトキシメタン若しくは石油系溶剤又はデカメチルペンタシクロシロキサンによる弱いドライクリーニングができる			
"	表6.8「表6 ドライクリーニング」 610	・石油系溶剤によるドライクリーニングができる	・石油系溶剤又はデカメチルペンタシクロシロキサンによるドライクリーニングができる			
"	表6.8「表6 ドライクリーニング」 611	・石油系溶剤による弱いドライクリーニングができる	・石油系溶剤又はデカメチルペンタシクロシロキサンによる弱いドライクリーニングができる			
148	繊維性能表「繊維／性能」	アクリル系	モダクリル			
150	索引	アクリル系繊維 25	モダクリル繊維 25 (→p.153「モスリン61」の下へ移動)			

表6.1 世界の主要繊維の生産

(単位：1000 t)

年	全繊維	化学繊維			天然繊維		
		化学繊維計	合繊	セルロース	天然繊維計	綿	羊毛
2015	90,314	67,535	61,465	6,070	22,779	21,647	1,132
2020	100,871	75,864	69,264	6,600	25,007	23,989	1,018
2021	114,992	88,899	81,544	7,355	26,093	25,057	1,036
2022	112,970	87,485	80,247	7,238	25,485	24,434	1,051
2023	116,887	91,684	83,934	7,750	25,203	24,123	1,080
2023/2015 (%)	29.4	35.8	36.6	27.7	10.6	11.4	-4.6
2023の構成比 (%)	100.0	78.4	71.8	6.6	21.6	20.6	0.9

綿、羊毛は季節年度。絹は天然繊維から除いてある。

[出典：化繊ハンドブック2025（日本化学繊維協会）]

表6.2 主要国・地域の化学繊維生産（2023年）

(単位：1000 t)

地域	ポリエステル			ナイロン S+F	アクリル S	セルロース	化繊 計
	S+F	フィラメント	ステープル				
日本	145	84	61	69	82	379	675
韓国	818	285	533	23	30	20	891
中国	57,020	45,090	11,930	4,320	604	6,776	68,720
台湾	720	433	287	118	-	12	850
インドネシア	966	528	438	23	-	608	1,597
インド	6,072	4,237	1,835	208	96	843	7,219
西欧	1,135	523	612	70	-	-	-
ブラジル	75	-	75	23	-	127	225

S：ステープル、F：フィラメント。

[出典：繊維ハンドブック2025（日本化学繊維協会）]

表6.3 世界主要国綿花の生産量

(単位：1000 t)

地域	2018	2019	2020	2021	2022	2023
中国	6,040	5,800	5,910	5,730	5,980	5,600
インド	5,661	6,205	5,992	5,290	5,722	5,493
ブラジル	2,006	2,779	3,002	2,356	2,552	3,200
米国	3,999	4,336	3,181	3,815	3,150	2,627
パキスタン	1,670	1,457	960	1,266	836	1,420
オーストラリア	485	115	608	1,277	1,252	1,021
トルコ	977	814	656	833	887	700
ウズベキスタン	637	531	700	590	590	590
その他	3,735	3,968	3,605	3,900	3,465	3,472
世界計	25,210	26,005	24,614	25,057	24,434	24,123

[出典：ICAC (Cotton World Statistics) , 化繊ハンドブック2025 (日本化学繊維協会)]

表6.4 国内の衣料品供給に占める国内生産、輸入、輸出の割合および輸入浸透率

(単位：数量千点、カッコ内は前年比増減%、▼減)

年	国内生産	輸入	輸出	国内供給量	輸入浸透率
2013	137,051 (▼8.8)	4,148,568 (3.3)	6,299 (1.7)	4,280,320 (3.1)	96.9
2014	120,498 (▼12.1)	3,915,337 (▼5.6)	5,744 (▼8.8)	4,030,121 (▼5.8)	97.2
2015	108,765 (▼9.7)	3,697,883 (▼5.6)	6,408 (11.6)	3,800,240 (▼5.7)	97.3
2016	105,587 (▼2.9)	3,759,369 (1.7)	6,918 (8.0)	3,858,038 (1.5)	97.4
2017	98,487 (▼6.7)	3,845,731 (2.3)	6,836 (▼1.2)	3,987,382 (3.4)	97.7
2018	95,682 (▼2.8)	3,979,150 (3.5)	8,105 (18.6)	4,066,727 (2.0)	97.8
2019	87,418 (▼8.6)	3,905,715 (▼1.8)	8,808 (8.7)	3,984,325 (▼2.0)	98.0
2020	80,820 (▼7.5)	3,499,052 (▼10.4)	8,026 (▼8.9)	3,571,846 (▼10.4)	98.0
2021	68,802 (▼14.9)	3,576,107 (2.2)	8,685 (8.2)	3,636,224 (1.8)	98.3
2022	66,906 (▼2.8)	3,670,340 (2.6)	9,541 (9.9)	3,727,705 (2.5)	98.5

※国内供給量は(国内生産+輸入-輸出)で算出、輸入浸透率は(輸入量÷(国内生産+輸入-輸出))×100で算出、生産は経済産業省の繊維統計、輸入は財務省の通関統計による。

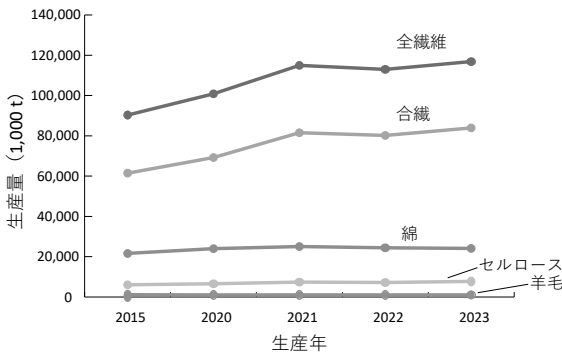


図6.1 世界の主要繊維の生産推移

[出典：日本化学繊維協会『繊維ハンドブック2025』]

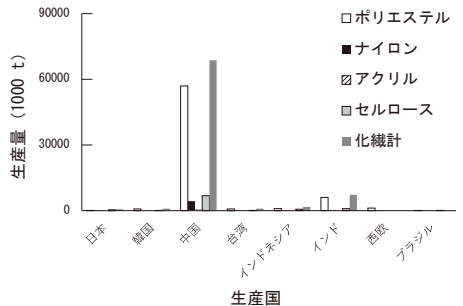


図6.2 主要国・地域の化学繊維の生産量(2023)

[出典：繊維ハンドブック2025 (日本化学繊維協会)]

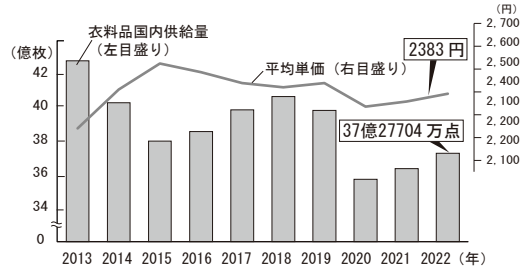
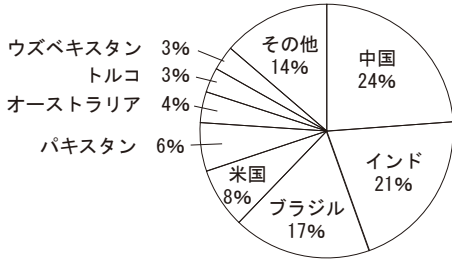


図6.3 世界主要国の綿花生産割合 (2023)
[出典：日本化学繊維協会 (2023)]

図6.4 衣料品国内供給量と平均単価の推移
[出典：織研新聞社 (2024)]

表6.5 2022年の国別アパレル輸入

(単位：上段数量千点、下段金額百万円、カッコ内前年比伸び率%、平均単価は円、▼減)

	ニット製衣料	平均単価	布帛製衣料	平均単価	合計	平均単価
中国	1,363,698 (▼ 3.9)	627	736,577 (4.4)	983	2,100,275 (▼ 1.1)	752
	855,195 (18.1)	(22.9)	724,338 (19.3)	(14.2)	1,579,533 (18.7)	(20.0)
ベトナム	354,894 (7.9)	728	151,812 (15.6)	1,502	506,706 (10.1)	960
	258,411 (37.6)	(27.5)	228,038 (39.0)	(20.3)	486,449 (38.2)	(25.6)
バングラデッシュ	199,653 (10.5)	446	78,864 (11.1)	1,083	278,507 (10.7)	627
	89,094 (31.9)	(19.4)	85,396 (44.6)	(30.1)	174,490 (37.8)	(24.5)
カンボジア	143,039 (3.3)	543	61,835 (▼ 0.1)	1,243	204,874 (2.2)	755
	77,688 (28.1)	(24.0)	76,891 (33.9)	(34.1)	151,579 (30.9)	(28.1)
ミャンマー	80,032 (51.1)	543	78,041 (54.0)	1,257	158,073 (52.5)	895
	43,423 (109.2)	(38.5)	98,084 (89.5)	(23.1)	141,507 (95.2)	(28.0)
インドネシア	55,244 (▼ 18.9)	772	40,493 (▼ 1.4)	1,272	95,737 (▼ 12.3)	984
	42,671 (4.5)	(28.9)	51,501 (35.8)	(37.8)	94,172 (19.6)	(36.4)
タイ	59,233 (11.4)	466	12,944 (32.4)	428	72,177 (14.7)	459
	27,596 (23.7)	(11.1)	5,543 (24.1)	(▼ 6.2)	33,139 (23.8)	(8.0)
インド	5,543 (24.1)	517	23,715 (▼ 9.1)	901	39,623 (4.8)	747
	5,543 (24.2)	(4.1)	21,360 (18.5)	(30.4)	29,591 (24.1)	(18.4)
韓国	7,966 (▼ 4.1)	337	545 (5.8)	1,894	8,511 (▼ 3.5)	436
	2,682 (▼ 5.0)	(▼ 0.9)	1,032 (1.3)	(▼ 4.3)	3,714 (▼ 3.3)	(0.2)
イタリア	1,476 (3.9)	23,512	1,299 (7.4)	38,034	2,775 (5.5)	30,310
	34,703 (27.3)	(22.6)	49,406 (27.9)	(19.1)	84,109 (27.7)	(21.0)
米国	1,309 (▼ 3.0)	3,265	386 (▼ 21.7)	10,834	1,696 (▼ 8.0)	4,989
	4,274 (14.6)	(18.2)	4,182 (14.4)	(170.4)	8,456 (14.5)	(24.5)
全世界	2,336,195 (0.3)	650	1,201,411 (7.7)	1,186	3,537,606 (2.7)	832
	1,518,947 (23.7)	(23.3)	1,424,971 (28.4)	(19.2)	2,943,918 (25.9)	(22.6)

[出典：織研新聞社 (2018)]